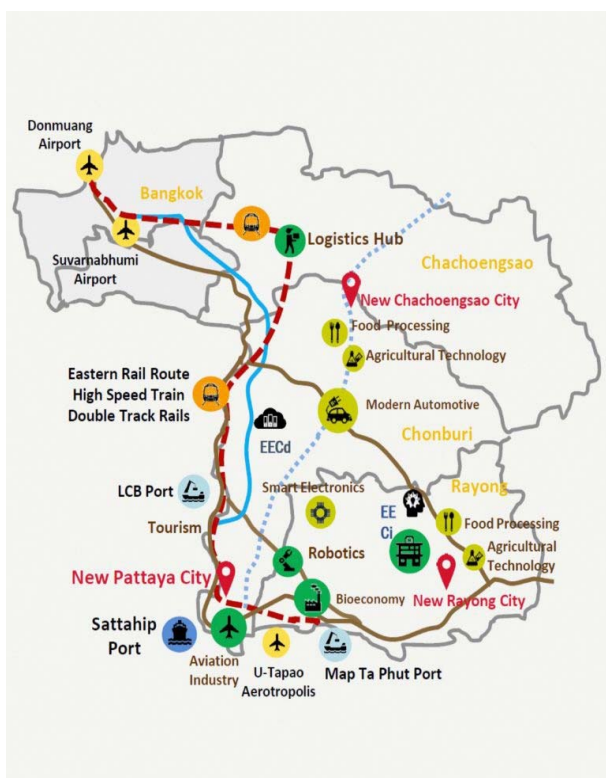


タイランド 4.0 東部経済回廊

今回は EEC（東部経済回廊）のインフラ整備についてレポートいたします。

タイ政府はチャチュンサオ、チョンブリ、ラヨーンの 3 県を東部経済回廊エリアとし 30 年間の開発の結果、現在、自動車産業他の集積地となっているこのエリアを新投資政策により投資を呼び込み再開発を目指すこととしています。タイのさらなる産業高度化を図るため、先進技術が特に必要な産業（次世代自動車、ロボット、医療ハブ、航空機産業、バイオ燃料等）を重点的に誘致しています。



BOI の恩典も特定地域の戦略プロジェクトには最長 15 年の法人税免除等の恩典が付与され、個人所得税も 17% まで軽減されるケースもあります。

EEC の 2017 年開始予定の主なインフラ整備

①ウタパオ国際空港

新滑走路を整備、旅客ターミナル・商業施設、フリートレードゾーン、航空機メンテナンス等新設。これによってバンコクを中心とする 160km 圏内に 3 か所の国際空港を持つことになり旅客及び貨物の取扱量が飛躍的に伸びると共に EEC の目玉でもある航空機産業の拠点となります。

②レムチャバン港開発（第 3 期）年間のコンテナ取扱量を現状の 700 万 TEU¹ から 2.5 倍の 1,800 万 TEU へ、また、自動車の輸出能力は現在の 100 万台から 3 倍の 300 万台へ増強される予定です。



1 コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEU は 20 フィートコンテナ 1 個分を示します。

③高速鉄道

ドンムアン空港、スワナプーム空港、ウタパオ空港を結ぶ高速鉄道が新設される予定です。これにより、現在、自動車ですら3時間以上かかる各空港間の移動が1時間に短縮されます。

また、EECのインフラ整備とは異なりますが、現在パタヤまで延伸しているバンコク・チョンブリモーターウェイのマップタプットまでの延伸が3分の1程度進んでおり2019年度には開通する予定です。

これらのインフラ整備によりマップタプット港を含め陸、海、空のインフラ整備も進み、物流インフラも大幅に改善される見込みです。

今回はEECに投資参入する各企業の動向をレポートいたします。

【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク (株式会社アークビジネスサーチ内) >>

【所在地】：東京都千代田区神田小川町1-11-8 大竹ビル7階

【担当者】：志賀 敦 (しが あつし)

<<タイ/バンコク現地デスク (ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内) >>

【所在地】：138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】：福田 淳 (ふくだ じゅん)

※デスクのご利用にあたっては、まず岡山県産業企画課マーケティング推進室

(086-226-7365)へご相談ください。